

鳥取短期大学自己点検・評価報告書

(別冊) 新型コロナウイルス感染症関連

令和 3 年 6 月 30 日版

目次

【基準Ⅱ 教育課程と学生支援】	1
【基準Ⅱ 教育課程と学生支援】	3
【基準Ⅲ 教育資源と財的資源】	7
【基準Ⅲ 教育資源と財的資源】	8
【基準Ⅲ 教育資源と財的資源】	9
【基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス】	10

はじめに

本報告書は、「令和３年度 鳥取短期大学 自己点検・評価報告書」の別冊（新型コロナウイルス感染症関連）として、新型コロナウイルス感染症に関連した本学の取り組みについて記載したものである。また、本報告書は「令和３年度 鳥取短期大学 自己点検・評価報告書」の本編と同様、一般財団法人大学・短期大学基準協会の定めた基準および観点に従う形で構成してある。

【基準Ⅱ 教育課程と学生支援】

[テーマ 基準Ⅱ-A 教育課程]

<根拠資料>

提出資料

002 鳥取短期大学学則

備付資料

- 153 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う本学教務上の対応方針等（20200518 公開）
- 154 R2_遠隔授業の実施・実現のための環境整備に向けた調査（20200702 実施）
- 155 授業の遠隔化を実現するための簡易ガイド（20200819 配信）
- 156 遠隔授業実施上のルール（対学生用/20210108 配信）
- 157 学外実習運営上の懸案事項の審議・調整を行う学外実習委員会の立ち上げ
- 158 時間割編成上のコロナ禍対応（前期途中での変更、後期時間割の事前対応）
- 159 体育館利用時の感染防止策チェックリスト
- 160 体育館周辺の臨時更衣室の設置（空部屋、用器具庫の利用）
- 161 WEB オープンキャンパス 録画動画
- 162 各種チラシ（WEB オープンキャンパス、個別相談、LINE de 相談）
- 163 ホームページ「受験生応援サイト」
https://www.cygnus.ac.jp/toritan_entrance/index.php?view=7209
- 164 ホームページ「オープンキャンパス」
https://www.cygnus.ac.jp/toritan_entrance01/index.php?view=5862
- 165 ホームページ『「LINE de 進学相談」を開催します！』
https://www.cygnus.ac.jp/toritan_entrance01/index.php?view=10427
- 166 ホームページ「とりたんチャンネル 動画 LINEUP」
https://www.cygnus.ac.jp/toritan_entrance01/index.php?view=10968

<テーマ 基準Ⅱ-A 教育課程の特記事項>

コロナ禍における教育課程の実施を目指し、本学教務上の対応方針を策定した。緊急時の授業運営や学生対応等の確認・留意事項について全学的に整理・調整するとともに、必要な学則変更を実施した。

6、8、9月に予定していた会場型のオープンキャンパスが中止となり、オンラインによるWEB オープンキャンパスを実施した。これにより高校生と直接会う機会が減少したが、個別相談の機会の増加や、SNSの活用、動画コンテンツの充実等で対応した。

【基準Ⅱ 教育課程と学生支援】

[テーマ 基準Ⅱ-B 学生支援]

<根拠資料>

備付資料

- 031 国際文化交流学科科会議事録（令和2年度）
- 033 住居・デザイン専攻科会議事録（令和2年度）
- 035 幼児教育保育学科科会議事録（令和2年度）
- 167 ホームページ『授業「異文化交流」でオンラインでの交流を楽しみました』
<https://www.cygnus.ac.jp/inter/index.php?view=11055>
- 168 新型コロナウイルス感染症への対応（生活学科食物栄養専攻）
- 169 令和2年度後期 健康・行動記録表
- 170 令和2年度 給食施設実習 健康・行動記録表
- 171 新型コロナウイルス感染症に関する誓約書
- 172 令和2年度 給食施設実習について（依頼）
- 173 承諾書
- 174 技術指導の取り扱いについての協定書
- 175 幼児教育保育学科 各月 健康・行動記録表
- 176 R2_1012 から 1023 自宅待機学生の対応について
- 177 鳥取看護大学・鳥取短期大学新型コロナウイルス感染症への対応：4月1日
- 178 新型コロナウイルス感染症対策に係る行動自粛について（要請）：4月10日
- 179 新型コロナウイルス感染症対策に伴う大学の休講について：4月20日
- 180 学生生活に関する注意点について：4月21日
- 181 新型コロナウイルス感染症対策に係る行動自粛について（要請）その2：4月24日
- 182 授業等の再開について（注意喚起）：5月8日
- 183 体調不良等による欠席への対応について（6月1日以降）：6月8日
- 184 夏の間の授業における熱中症対策とコロナ対策：6月25日
- 185 新型コロナウイルス感染症（PCR検査）への対応について（確認）：7月6日
- 186 アルバイトに関する取決めについて（お知らせ）：8月4日
- 187 春休み中の感染対策について：2月16日
- 188 5/11（月）以降の時間割について（お知らせ）（5月7日サイボウズ掲示板に掲示）
- 189 新型コロナウイルス感染症対策に伴う教室の消毒について（お願い）（4月8日サイボウズ掲示板に掲示）
- 190 アルバイトに関する取決めについて（お知らせ）：8月4日
- 191 アルバイト許可の面談フォーム（X-point）（1月6日サイボウズ個人フォルダ【短大教員全員】に送信）

- 192 面談記録（アルバイト）(X-point フォーム様式)
- 193 こころの健康を保つために（配信用 042. pdf
- 194 サイボウズ上にある各種マニュアル
- 195 サイボウズ上にある各種講習会の出欠確認
- 196 サークル活動再開計画書（学生課 7 月）
- 197 学友会総会資料（学生課 4 月）
- 198 O×クイズ大会企画書（学生課 11 月）
- 199 20201016 版シグナス寮コロナ対策. docx
- 200 20201009 帰寮時のチェック（全員）. docx
- 201 シグナス寮感染対策動画「シグナス寮の感染予防の取り組み」20210205Google
ドライブ上
- 202 「学生支援緊急給付金」受給対象者の推薦について
- 203 倉吉市新型コロナウイルス関連教育活動支援事業費補助金変更承認通知書
- 204 新型コロナウイルス感染症対策助成金交付決定通知書
- 205 令和 2 年度私立学校情報機器整備費（遠隔授業活用推進事業）補助金の交付の
内定について
- 206 ホームページ「JA 鳥取中央さんより一人暮らしの学生にお米と野菜をいただき
ました！」
https://www.cygnus.ac.jp/college_news/index.php?view=10671
- 207 ホームページ「宝製菓さんよりお菓子をいただきました！」
https://www.cygnus.ac.jp/college_news/index.php?view=10759
- 208 ホームページ「JA 鳥取県中央会様、鳥取県生活協同組合様より、学生にお米や
レトルト食品をいただきました！」
https://www.cygnus.ac.jp/college_news/index.php?view=11020
- 209 WEB 合同企業説明会 WEB 面接注意点（キャリア支援課 4 月）
- 210 「鳥取短期大学就職企業説明会」について（キャリア支援課 5 月 7 日）
- 211 「保育学生のための個別職場説明会」実施要項（キャリア支援課 6 月）

<テーマ 基準Ⅱ-B 学生支援の特記事項>

国際文化交流学科

海外研修として実施する「異文化研修」が中止となった。海外研修参加を希望していた学生を対象に、代替企画としてオンライン交流会をはじめとする異文化交流イベントを後期に全 7 回実施し、学生 7 名が参加した。

「異文化交流」では、対面交流を中止し、代替措置として県内に在住する異文化圏の方々とオンライン交流を実施した。「地域社会体験 A」では大学祭でのパネル展示中止の代替措置として、オンライン成果発表会を実施した。

生活学科情報・経営専攻

遠隔授業（オンデマンド方式 moodle、ライブ式 OBS、Zoom、Google Meet）を前期休講中（4 月 24 日から 5 月 1 日）に「プログラミング」、「特別研究」、「情報処理実務」と「ネットワークの基礎」で行った。また、講師が県外在住（前期に「生活管理概論」、

「後期に基礎演習 B」)でも実施した。

生活学科住居・デザイン専攻

Zoom を使った遠隔授業のテスト授業を実施した。学生の自宅でのネット環境を調査し、遠隔授業への適応度合いを把握した。「レザークラフト」の授業において、東京在住の非常勤講師とインターネットで接続、遠隔での実習を行った。

生活学科食物栄養専攻

「新型コロナウイルス感染症への対応」を作成し、学生・学外実習先に周知した。学生へは「健康・行動記録表」「誓約書」を用いて、自己管理・報告を行うよう指導した。学外実習先へは感染症対策等を記載した「協定書」等の各書類を送付した。

幼児教育保育学科

保育実習・教育実習の実施に際し、「健康・行動記録表」の記入・提出、手指消毒液を実習先に持参等を行う。実習時期を変更、学内演習への切替、実習先からの要請で実習前 1 週間の自宅待機者に ICT 活用での授業内容を補償する等を行った。

全学

遠隔授業（オンデマンド方式 moodle、ライブ式 OBS、Zoom、Google Meet）の教職員向け講習集会を実施した。

感染防止対策指導

通学・受講・食事などの基本的な学生生活について、帰省に伴う行動について、体調不良による欠席の扱いについてなど、節目ごとに注意点を周知した。

時間割の調整

時間割を改めて調整し、時差登校ができるようにした。

前期：令和 2 年 5 月 11 日～月・火の幼児教育保育学科 1 年次の 1 限目を午後に移動した。

後期：授業開始日から調整済み

教室の消毒作業

令和 2 年 4 月 9 日以降の授業期間中、1 日の最後に使用する教室で、授業終了後に学生と教員が協力して消毒作業にあたった。授業期間以外の期間は、教室の使用者が各自で消毒作業にあたった。

アルバイト

アルバイトは、令和 2 年 4 月末の緊急事態宣言発出から 5 月末まで原則禁止とし、6 月以降は担任との面談を経て許可を得たものについてのみ認めることとした。令和 2 年 1 月 6 日以降は X-point の様式で担任から教務部長に申請することとした。

マスク販売

市中のマスクが品薄で、購入困難な状況が続いたため、令和 2 年 5 月 13 日から独自ルートで入手したマスクを事務室にて廉価で販売することとした（4 枚で 200 円）。

メンタルヘルス

非常勤カウンセラーが、コロナ対策に係る「こころの健康維持のためのポイント」をまとめたチラシを作成し、電子掲示板等で学生に周知した（4 月 23 日～）。

学友会活動

近隣大学の動向を見ながら出来るだけ学生の活動の場の確保に努めた。サークル活

動は感染予防指導を行うことで安全に活動ができるようにした。また、新規企画〇×クイズ大会など、感染対策との両立を図ったイベントを開催した。

シグナス寮

集団生活となる寮内での感染症予防の他、帰省及び帰寮に対する対策を重点的に行った。帰省の自粛を依頼したほか帰省した寮生に対しては、帰寮時の検温・体調チェック・行動記録等を義務づけた。感染症予防強化のためのオリジナル動画作成も行った。

補助金等

新型コロナウイルス感染症に関する学生への国・市等からの補助金、物資支援等については下記のとおりである。

学生支援の内容	補助金等の受給先	補助金額
学業継続支援金（該当者一人当たり 100・200 千円）	日本学生支援機構	10,300 千円
学業継続支援金（該当者一人当たり 30 千円）	倉吉市	2,700 千円
学生食堂食事券配布（一人当たり 2 千円）	日本学生支援機構	800 千円
遠隔授業に備え学生貸与用 PC100 台購入	文部科学省	3,352 千円
遠隔授業に備え学生貸与用 PC32 台購入	倉吉市	1,216 千円
一人暮らしの学生へお米と野菜	JA 鳥取中央	200 人分
箱入りお菓子（全学生）	宝製菓株式会社	550 人分
生活困窮学生へ米、レトルト食品他	鳥取県生協他	60 人分

進路指導

県外での就職試験の受験生動向を把握して対応した。4 月に WEB 説明会および面接のための講座を開設し WEB 対応を徹底した。就職企業説明会および保育学生のための職場説明会を一斉開催から個別説明会に変更実施した。

キャリア支援教育

「インターンシップ A」を中止したが「インターンシップ B」は予定通り開講した。

【基準Ⅲ 教育資源と財的資源】

〔テーマ 基準Ⅲ-A 人的資源〕

<根拠資料>

備付資料

- 212 危機管理委員会議事録（令和元年度～令和２年度）
- 213 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防について（2020.3.16 研修資料）
- 214 職員除菌清掃当番表
- 215 学生アルバイト募集チラシ

<テーマ 基準Ⅲ-A 人的資源の特記事項>

新型コロナウイルス感染症への危機管理対応のため、令和２年３月２日に危機管理委員会を立ち上げ、令和３年３月３１日現在で累計３４回の委員会を開催。各種行事の開催判断と実施方法、感染予防対策、遠隔授業対策、学生支援対策などの方針を決定。

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の予防について」というテーマで鳥取看護大学の感染免疫学が専門の教員による教職員対象の研修会を実施。（令和２年３月１６日）

職員が当番制で、消毒用の次亜塩素酸ナトリウム液をつくり学内に配置した。教室については、授業終了後に担当教員と学生、共有スペースは、職員が朝夕と消毒作業を行った。また、５月からは学生アルバイトを募り、共有スペースの消毒作業を行った。

消毒液、除菌シート、作業用手袋は、年度当初は品薄状態が続いていたが、その後は徐々に購入することができた。令和２年度末時点では、３ヶ月分程度の備蓄をしている。またマスクについては、４,０００枚の備蓄をしている。

【基準Ⅲ 教育資源と財的資源】

〔テーマ 基準Ⅲ-B 物的資源〕

＜根拠資料＞

備付資料

194 サイボウズ上にある各種マニュアル

195 サイボウズ上にある各種講習会の出欠確認

＜テーマ 基準Ⅲ-A 人的資源の特記事項＞

電子メールや遠隔授業等の事業継続計画（BCP）の一環としてセキュリティ向上のためオンプレミスサービスから Google Workspace for Education への移行を 12 月 25 日に完了した。

【基準Ⅲ 教育資源と財的資源】

[テーマ 基準Ⅲ-C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源]

<根拠資料>

備付資料

- 194 サイボウズ上にある各種マニュアル
- 195 サイボウズ上にある各種講習会の出欠確認
- 203 倉吉市新型コロナ関連教育活動支援事業費補助金変更承認通知書
- 216 教員への案内（掲示版）
- 217 学生貸出用パソコン案内チラシ

<テーマ 基準Ⅲ-C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源>

遠隔授業を想定し、教員に対しパソコンに設置するカメラ、マイクの購入希望を取りまとめ、一括購入した。また、倉吉市新型コロナ関連教育活動支援事業費補助金を活用して学生貸出用ノートパソコン 32 台を購入し、令和 3 年 2 月 1 日より、貸出を開始した。さらに、文部科学省遠隔授業活用推進事業を活用し、ノートパソコン 100 台を追加購入、令和 3 年 3 月に納品された。

遠隔授業（オンデマンド方式 moodle、ライブ式 OBS、Zoom、Google Meet）を前期・後期に実施した。

また教職員へ遠隔授業・TV 会議の講習会を前期・後期に実施した。

【基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス】

[テーマ 基準Ⅳ-A 理事長のリーダーシップ]

<根拠資料>

備付資料

212 危機管理委員会議事録（令和元年度～令和２年度）

<テーマ 基準Ⅳ-A 理事長のリーダーシップの特記事項>

新型コロナウイルス感染拡大に対応すべく、令和２年３月２日に危機管理委員会を立ち上げ、令和３年５月末までに計５２回の委員会を開催。理事長の強いリーダーシップの下、対面授業を基本としつつ迅速かつ機動的に方針を決定し対策を実施してきた。